

膨大な地震データと洗練された創意工夫が、ここに集結する

情報 × 地震

地震・測地データ 活用アイデアコンテスト2025

最前線で活躍する研究者から
事前に講義を受けることができ、
アイデアへのアドバイスももらえます！

参加無料

専門知識
不要

参加登録
受付

5月13日
開始

アイデアの
提出締切

7月25日

最終審査会
(オンライン発表可)

8月23日

対象

情報科学や地震学に関心のある
中高生、高専生、大学生 等

主催

文部科学省STAR-Eプロジェクト
(事務局：EY新日本有限責任監査法人)

参加費

無料

お問い合わせ

stare.event@jp.ey.com
(担当：山二・郷田)

定員

最大50組（個人又はチーム）

※参加登録サイトは現在作成中のため、追ってお知らせします



「STAR-Eプロジェクト」について

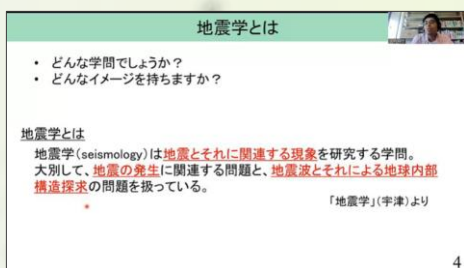
STAR-Eプロジェクトは、情報科学の知見を採り入れた新たな地震調査研究を推進するためのプロジェクトです。
「情報科学×地震学」の両分野の連携を促進する様々な取組により、分野全体の発展を目指します。

ウェブサイト：https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/projects/index.html

イベント概要

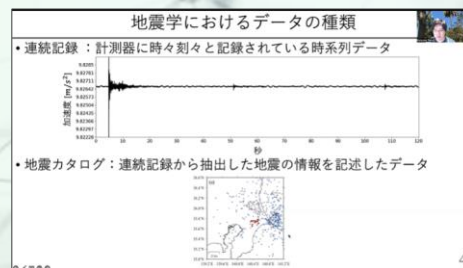
事前講義の内容

講義1：ゼロからわかる情報科学×地震学



講師：東北大学大学院理学研究科
地球物理学専攻 助教 加納 将行 先生

講義2：地震・測地データをさわってみよう※1



講師：情報・システム研究機構 統計数理研究所
数理・推論研究系 准教授 矢野 恵佑 先生

※1 講義2では、デモデータを用いた演習を行いました（今年も内容拡充予定！）

開催期間中はSlackを用いて研究者との相談会等を実施予定

審査員一覧(予定)

樋口 知之 氏
STAR-Eプロジェクトマネージャー

内出 崇彦 氏
産業技術総合研究所 地質調査総合センター
活断層・火山研究部門

加納 将行 氏
東北大学大学院理学研究科 地球物理学専攻 助教

久保 久彦 氏
防災科学技術研究所 地震津波複合災害研究部門 主任研究員

長尾 大道 氏
東京大学地震研究所 計算地球科学研究センター

矢野 恵佑 氏
情報・システム研究機構 統計数理研究所 数理・推論研究系

これまでの イベント参加者の声

同年代の発展した研究を聞いてとてもためになった
(高校生)

友人と協力しながら一つのアイデアを作り上げるのが楽しかった (高校生)

地学が好きだと再認識できた (高校生)

専門家の意見が頂けてとてもためになる (大学生)

昨年度の発表アイデア・受賞情報

最優秀賞・アイデア大賞（ダブル受賞）
「アンプリチュード法」で地震動被害の予測を世界へ～低密度観測点での地震被害の予測～
中河颯太（筑波大学附属駒場高等学校）

情報科学×地震学奨励賞
津波避難のお供「Evacumate」
～津波からの避難を助けるアプリケーションの開発～
大谷優介、三島宏介、趙天傲（聖光学院高等学校）

審査員特別賞
地下水、温泉水を活用した地震観測法と被災時の生活水獲得
穴戸彩花（仙台市立仙台青陵中等教育学校）

詳細情報

QRコードからも
アクセスできます



参加申し込みページ

(<https://evt-wivzie20250430.eventcloudmix.com/entry>)

イベントの詳細（スケジュールや審査方法、プログラム等）は以下をご覧ください

イベントページ

<https://evt-wivzie20250430.eventcloudmix.com/top>

開催報告（地震本部ニュース）

<https://www.jishin.go.jp/main/herpnews/2024/sum/herpnews2024sum.pdf>